

秋の平和行動第3弾「9条の会」交流集会

どこにでも「9条の会」がある、そんな茨城にすために！

## 「9条の会」の経験交流集会を成功させよう

1. 今年度の運動方針で、各平和委員会の「9条の会」の運動について、その取り組みの教訓や悩みなどを経験交流しようときめました。常任理事会では「交流集会」を成功させるためにプロジェクトチームをつくり検討し、以下の要領で実施するはこびとなりました。各平和委員会は2～3名以上の参加者をお願いいたします。

2. 運営にあたって

(1) 今回の交流集会は何か結論を出して運動の方針を決めるものではありません。参加者がそれぞれ教訓や取り組みの上での悩みなどを話し合い、これからの運動の糧とすることにあります。従って最後のまとめもいたしません。各3つのグループの報告とし成果を地域・職場に持ちかえっていきます。事前の30分の説明も、「9条の会」の性格と運動についての確認と平和委員会と「9条の会」についての簡単な説明とします。

(2) 各グループに2名の司会者をおき、運営にあたります。一人は全体集会の際の報告者となります。

また、交流の話し合いでは一人のひとがあれば、これも一度に喋ると聞く方が話しにくくなり充実した交流になりません。一つの事について3分間とし、何回も話して話してもらうようにします。

### 日程

とき：11月3日（土）午前10時～午後4時

ところ：県立青少年会館（県立歴史館まえ）

<集会プログラム>

10:00～10:30 プロジェクトチームからの簡単な説明と運営についての報告

10:30～10:45 3つグループに会場の移動

10:45～12:30 午前の経験交流

12:30～13:30 昼食休憩\*昼食は県で用意します。

13:30～15:30 午後の経験交流

15:30～16:00 3つのグループからのまとめ報告

## 新聞意見広告応募要領

12月8日付、読売新聞朝刊に掲載します。但し賛同者・団体の名前は紙面の都合で掲載できません。後日、意見広告と賛同者名・団体名の入ったものを印刷してお届けします。

内容は憲法9条・自衛隊の海外派兵からの撤退・百里基地等を検討します。

賛同費：個人1人・1口 1000円。

：団体 1口 3000円。

第1次締め切り日：11月末日。

最終締め切り日：12月7日とします。

申し込み先：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

TEL/FAX: 029-251-2806

平和行動第4弾・読売新聞意見広告賛同のお願い  
福田内閣でも、憲法9条は変えさせません！

## 自衛隊の海外派兵はやめさせましょう

みなさん！戦後60年以上、アメリカの戦争に巻き込まれないで「日本国民が平和で暮らせてこれたのは憲法9条があったから」という事は憲法改正をいう人でも認めざるを得ません。世界中の人々から羨ましがられているのが、9条のある日本国です。子供や孫のためにも9条を輝かせ、「基地もいらない」「戦力も持たない」日本を築いていこうではありませんか。

私たちは多くの県民のみなさんにこの事を訴えるために別記の要領で新聞意見広告を出すことにしました。

## 第3回常任理事会報告

10月15日、秋の平和行動の真っ只中に常任理事会（12名参加）を開きました。議題は秋の平和行動の中間的なまとめと後半の取り組みを成功させるための討議でした。特に、「9条の会」の交流集会と新聞意見広告を各平和委員会のみなさんと一緒に役員が奮闘することを申し合わせました。

平和かわら版

平和新聞茨城版

No.485  
月3回 発行  
2007.10.25

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahnei@amber.plala.or.jp



# 9月は、平和かわら版をきっかけに、平和についてあらためて考えた月であった、

## 百里はやっぱい軍事基地

信夫 渡慶次 組 労働市妻下

僕は、小学校教師37年のうち、終わりの12年を知的障害のある子供の学級を受け持った。そのことから定年後の勉強として、茨城の子供（子供の権利条約でいう18才未満のもの）と障害者の歴史を調べてまとめることをしている。

そんなこともあって、先月9月5日号の平和かわら版にのった、全国障害者問題研究会茨城支部長・鈴木宏哉さんの『究極の「人間性」捨象の論理』には、障害者問題と平和ということについて、深く考えさせられた。そこに紹介されていた元全国障害者問題研究会会長清水寛編著『日本帝国陸軍と精神障害兵士』は自分の勉強の参考になると思い、早速購入し読んでみた。学術書であったにもかかわらず、戦時下の精神障害兵士の生々しい症例の紹介に興味深く読み通すことができた。その中には茨城県出身の兵士の症例がいくつもあり、近代茨城の障害者史をまとめるとき、引用させて貰うつもりである。

そうこう書いているうちに、教師時代の平和教育の実践を思い出した。

小学校4年生に、手持ちのマンガ『はだしのゲン』7巻を順番に貸し出し、読んで感想文を書くことを宿題にした。家庭訪問の折、親が、「風呂の中でもマンガを読んでいたよ」と笑って話してくれた。感想文は冊子にして子供たちに返した。

また、勝田市史や大江志乃夫『戦争と民衆の社会史』（徳間書店）を参考にしながら6年生と地域のお墓調べをして、戦没者の氏名・戦没地・階級などを調べ、戦争と民衆の生活史を学習していった。そのまどめを学級通信にのせ、父母にも読んでもらった。

9月22日の朝5時30分頃、新聞を取りに玄関を出ると、封筒を持って立っていらっしやる方がいる。名前を伺うと「平和の会の神長です。切手代がもつたないので直接もって来ました。」とおっしゃって封筒を手渡してくだ

さった。お礼を言って中へ入って封筒を開くと、みどみなみ平和の会の皆様へと題した平和委員会議事レポートで、7月の第1回常任理事会、8月の第2回常任理事会、当面の活動予定などがのせられていた。みんなに支えられていることを実感した。

前夜、かねてから見たいと思って見る機会のなかったアニメ「火垂るの墓」のテレビ放映があった。9時前に寝る習慣なので、孫の母親に録画しておいて貰った。雨の日にでも4歳の男と2歳の女の子の孫と見てみようと思っているが、まだその機会がない。

9月は、平和かわら版をきっかけに、平和についてあらためて考えた月であった。

## 茨城の空のは米軍機はいらない

10月15日11時から百里基地正門前で米軍機くるな茨城実行委員会と共産党県委員会は日米共同軍事訓練の強行に約50人が参加し抗議しました。青森三沢基地から百里基地へF16戦闘機5機が強い抗議の中、大きな爆音を立てながら抗議団の上を旋回しながら飛来しました。実行委員会は防衛省に対する抗議文を実行委員会を代表して松原さんが百里基地広報室長に手渡しました。抗議集会後、訓練の監視行動をしました。

10月19日（金）下妻公民館を会場に10・21国際反戦デー下妻地区集會が開催されました。集會は、筑西市なども含めて40名あまりの参加で、成功裏に終了しました。

松原さんの講演は、「百里は軍事基地」ということを再確認させるものでした。百里基地は、F15戦闘機のほか、全国で唯一の偵察機が配備されているそうです。騒音のひどさは全国一（03年度調査）です。

有名な「くの字」の誘導路は、憲法9条を掲げてたたかってきた成果です。緊急時に滑走路として使用する誘導路が曲がっているなど論外です。外国で、「基地内に民有地があり、誘導路を曲げている」との話をすると驚かれるそうです。今回の共同訓練も「在日米軍再編」＝「日米軍事一体化」で日米空軍の一体化、日米共同基地化の一環です。すでに、航空自衛隊F15戦闘機の空中空輸訓練も行われており、9条を変えればすぐにも近隣諸国に侵攻できる準備が進められているとのことでした。

会場からは、今回の日米共同訓練も含めて自治体、議会、市民の反応はどうか、との質問が出されました。地元は、これまでの経験から、反対しても押し切られるという諦めがあり、表立った行動がみられないのではないかと、とのことでした。

百里基地問題を、「忘れてはいけない。遠い話にしてはいけない。」と感じた集會でした。参加されたみなさん、ごころうさまでした。

（下妻市職機閉誌こだまから抜粋）

今号で「かわら版」編集を若い人はバトンタッチするところになりました。307号（02年11月15日）から宮田さん（は05年まで）と編集を担当し多くの方に教を立受け、眠っていたバトンを立てち上げ、デジタルで写真を少し送信もと近代化？してきました。当時の決意？は『質』を落とさずに書いたものが・・・幸い今年全国コンクールで最優秀賞を取ったのが救いです。現役時代「紙の弾丸」職場新聞やビラで自立を遂げた経験が、大変役に立ちました。読者の皆さん大変お世話になりました。今後ともかわら版直しくお願いします。（ま）



編集部便り